

★ K4型およびS2型VLBI観測装置の国際標準化を実現★

これまで世界のVLBI装置はK4(日本)、S2(Canada), Mark-IV(USA)など、異なるフォーマット、記録メディアを使っており、国際的なVLBI観測を行う際に互換性が大きな問題とされてきました。このため、異なるシステム間の互換性を確保する目的でVSI(VLBI Standard Interface又はVasatile Scientific Interface=VSI)の仕様制定が進められてきました(VLBIニュース第76,77号参照)。今回、世界に先駆けてVSI仕様に準拠したVSI-K4-DIM (VSI対応K4入カインタフェース)及びVSI-S2-DOM (S2出カインタフェース)が完成しました(図1)。これにより、S2型データをK4型システムへ変換することが可能になったほか、これら広帯域記録装置が汎用の科学データ記録装置として使用可能になります。具体的な例としては(1)両機器を組み合わせてS2→K4のデータ変換を実現(図2)、(2)現在開発中のVSIサンプラとVSI-K4-DIMを組み合わせて、現在のDFC-2100を用いたK4型記録システムと上位互換のあるシステム(図3)を実現できます。

図1:VSI-K4-DIMの外観 (VSI-S2-DOMも同サイズ)



(M. S. 記)

